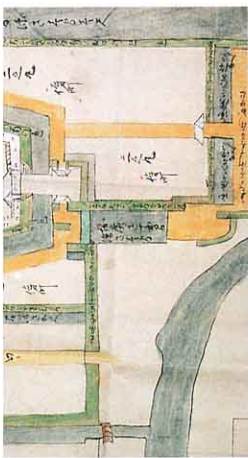




葺平瓦 (梁川城跡)
こ用いたと考えられる。文様は連珠・
丸瓦)と唐草(軒平瓦)である。



梁川城絵図 (米沢市立図書館蔵)
須田氏時代(慶長三年、寛文四年)の
作成と考えられ、町割をはじめ本丸
(現在の梁川小学校敷地)の広さから
土塁・堀など詳しく描かれている。



古銭の出土状況

(梁川城跡)



茶臼と五輪塔 (梁川 輪王寺・茶臼山)
茶臼の下臼は輪王寺跡、五輪塔(空輪・
火輪)は茶臼山北遺跡から多量に出土し
た物の一部。

年 表

時代	時 期	主なできごと	梁川の主な遺跡と出土品・遺構
原	後期旧石器時代 3万年～ 1万2000年前		林正寺(りんしょうじ)遺跡 ・彫刻刀形石器
	縄文時代 ○草創期 ○早期 9000年～ 6500年前 ○前期 ○中期 5000年～ 4000年前	・土器をつくり、狩りに弓矢を用いる。 ・複式炉の発達。	町谷川(まちやがわ)遺跡 ・条痕文(じょうこんもん)のある土器 町谷川遺跡 ・造形的な複式炉、大型カメラ 夏窪(なつくぼ)遺跡 ・敷石住居 林正寺遺跡 ・土偶、土錘、炭化どんぐり、炉 西下町(にししたまち)遺跡 ・石皿、鉢
	○後 期 ○晩 期	・集落規模が広がる。	
始	弥生時代 2300年～ 1700年前	・稲作が始まる。	館前(たてまえ)遺跡 ・天王山式壺
	古墳時代 3～7世紀	・前方後円墳が築かれる。 ・仏教伝わる。	
	奈良時代 8世紀	・奈良に都がうつされる。 ・梁川地方は古代織物の産地静戸郷に属する。 ・京都に都がうつされる。	新山(しんざん)古墳(8世紀) ・横穴式石室、蕨手刀、鉄鏃 静戸郷(しずりべごう) 東土橋遺跡(10～11世紀) ・甌、羽釜、竈(かまど)付住居跡、土師器と須恵器
古 代	平安時代 8～11世紀		
	鎌倉時代 12～14世紀	・鎌倉に幕府がひらかれる。 ・伊達氏が八幡宮をまつり梁川城を築く。	物見山遺跡 ・のろし遺構 大館(おおだて)館跡 ・柱穴、土塁(古代～中世) 八郎窯(13世紀) ・片口鉢、甕、壺 梁川城跡(本丸・三の丸)(中世～近世) ・各地の陶磁器、瓦、古銭、庭園 大枝城跡 ・堀、土塁
	室町時代 14～16世紀	・伊達植宗、陸奥国守護職となる。	茶臼山北・西遺跡(14～15世紀) ・五輪塔、墓、武家屋敷跡、寺院跡 輪王寺(りんのうじ)遺跡(15世紀) ・築地堀、堀、寺院柱穴、仏具
中 世	安土桃山時代 16世紀	・伊達政宗、岩出山へうつる。	